

令和２年度 秋田地域保健医療福祉協議会 書面開催結果

○開催方法

令和３年３月１２日（金）各委員へ資料を送付、意見を２２日（月）まで回答依頼。

○資料送付委員名簿（五十音順、敬称略）

氏 名	役 職	備考
明石 徹	秋田県生活衛生関係営業秋田地方連絡協議会長	
石井 秀彦	男鹿・潟上・南秋歯科医師会長	
伊藤 善信	秋田市保健所長	
稲田 修	秋田県教育庁中央教育事務所長	
加藤 禎子	秋田県看護協会秋田臨海地区支部第１副支部長	
鎌田 天嗣	潟上市社会福祉協議会事業課長	
小玉 喜久子	潟上市赤十字奉仕団委員長	
小林 寿夫	男鹿・潟上・南秋圏域老人福祉施設連絡協議会長	
齋藤 カヅ子	秋田周辺地域食生活改善推進協議会長	
佐々木 範明	男鹿潟上南秋医師会長	
佐藤 重信	秋田湖東ライオンズクラブ会長	
佐藤 友紀	秋田県薬剤師会秋田中央支部副支部長	
菅原 広二	男鹿市長	
杉山 和	秋田県病院協会副会長	
高橋 憲人	秋田中央食品衛生協会长	
千葉 利昭	秋田市歯科医師会長	
坪井 純	男鹿潟上南秋医師会理事	
畠山 菊夫	南秋田郡町村行政連絡協議会長（八郎潟町長）	
藤原 一茂	潟上市長	
船木 初美	秋田県栄養士会副会長	
穂積 志	秋田市長	
松岡 一志	秋田市医師会長	

○送付資料

資料１：令和２年度主な事業の実施状況

資料２：令和３年度重点事業の紹介

資料３：福祉環境部からの情報提供

参考資料：秋田地域振興局福祉環境部 令和２年度事業の実施状況

○委員からの意見

1. 令和2年度主な事業の実施状況（資料1）

環境保全意識を醸成するためには、幼少期からの取組が重要であり、小学校での環境学習会を実施する本事業について、好評価をいただいた。学習内容を日常生活に反映させるだけでなく、将来の職業選択時にも環境保全意識をもって考えることができるため、今後とも継続して実施することを求められた。

2. 令和3年度重点事業の紹介（資料2）

前年度に引き続き、事業内容に好評価をいただいた。前年度実施の海洋ごみに加え、当地域の特色である八郎湖のごみ汚染も取り上げながら、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、臨機応変に対応することを求められた。

また、環境保全意識の醸成にはより早期からの取組が有効であるとして、現在（対象：小4）よりも低学年を対象とすることも提案された。

3. 福祉環境部からの情報提供（資料3）

新型コロナウイルスについて、県全体及び保健所の対応を労われた。秋田県民の県民性として、通知等を遵守することを挙げ、今後、第4波が発生しないよう、不適切な「慣れ」が生まれないように周知することを求められた。